

障害者を企業に紹介

プロッソ、支援団体と協力

人材の中途採用コンサルティングを手掛けるプロッソ(東京・千代田)は、企業の障害者採用を支援する事業を始めた。経済的自立を望んでいた障害者を取り組むと協力して採用者が働きやすいつくりを手

助けする。障害者雇用の拡大を目指す企業の需要を取り込む。

新サービスは障害者を採用したい企業の求人情報を集めると同時に、採用者が取り組む業務などを助言する。プロッソは障害者支援団体などを通じて障害者を募集し、応募者を求人企業に伝える仕

組み。

例えばパラリンピック種目などのスポーツをしている障害者を採用した企業には、その人やスポーツ団体の活動を支援する提案をする。企業の広報活動を担当することなどを想定する。既存の業務を障害者に担ってもらうだけではなく、新たな仕事をつくり出すことで、採用機会を増やす。

企業は障害者を積極採用する義務を負う。しかし、障害者雇用促進法が規定する常用労働者に対する障害者の最低雇用率は1・8%以上だが、平均は1・59%にとどま

ている。

ただハローワークや自社の求人広告だけでは人材を集めきれない企業もあるとみられ、プロッソは新サービスでこうした企業を掘り起こす。

新サービスの費用は、コンサルティングなどにかかる代金として180万円、採用1人あたり100万円が必要。初年度に30社の利用を見込む。障害者側には費用はかからない。